

今、私たちが住む地球には、いろいろな環境問題が起きています。

環境を学ぼう

環境問題について調べて、自分にできることを実行しましょう。

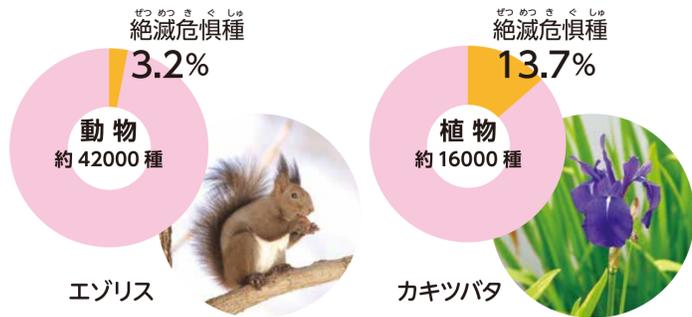
生物多様性と自然のめぐみ

たくさんの生き物が絶滅の危機にさらされています

地球上には約3000万種類の生き物がいるといわれ、人間もふくめて、全ての生き物が関わり合って生きています。しかし、世界には絶滅の危機にさらされている生き物(絶滅危惧種)も多くいます。

日本でも、エゾリス、ツキノワグマ、カキツバタ、ハナナズナなど、約3600種類の生き物が絶滅の危機にさらされています。

▶絶滅の危機にさらされている日本の野生動植物の割合



▶日本最大のサンゴ礁の白化現象が進みサンゴの死滅が進んでいます

サンゴ礁には、海を浄化したり、天然の防波堤として波をささげり海岸を浸食から守ったりする働きがあります。



また、サンゴには光合成を行う褐虫藻類(※1)が共生していて、地球温暖化の原因になっている二酸化炭素を吸収し酸素を排出しています。

ところが、沖縄にある国内最大のサンゴ礁「石西礁湖」では90%以上が白化し、その内70%のサンゴが死滅しています。原因は、地球温暖化による海面水温の上昇といわれています。

※1…褐虫藻類とは 熱帯、亜熱帯に生息する海産無脊椎動物の細胞内に共生している単細胞藻類

生き物が減少したり絶滅したりする原因は？

たくさんの生き物が、いろいろなところで、お互いに関わり合って生きていることを「生物多様性」といいます。

人間もその一部で、私たちは生物多様性のめぐみを受けて暮らしています。しかし、その大切な生物多様性をこわしているのは人間です。一方で守ることができるのも人間です。

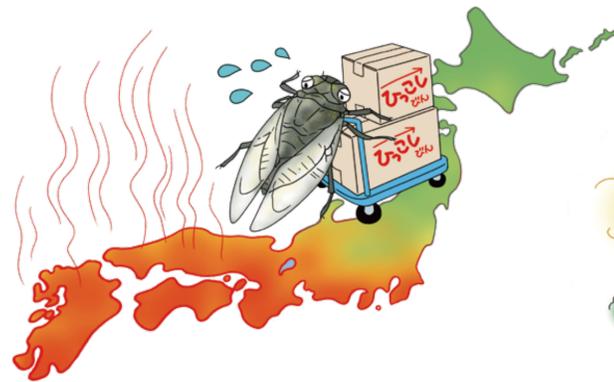
土地開発などにより自然がこわされ、生き物のすみかが少なくなっています



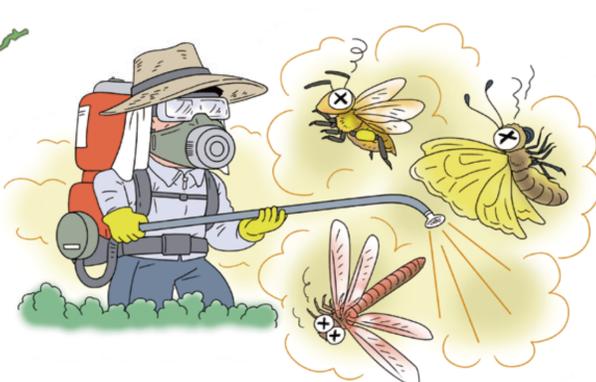
外来種が、もともといた生き物を食べたり、すみかをうばったりしています



地球温暖化などによって、生き物のすみかの様子が変わってきています



農薬などの化学物質が生き物に悪い影響を与えています



危険な外来種の影響

外来種は、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生き物です。外来種は、もともといた生き物に影響を与えるだけでなく、人間にも危険を与える場合があります。

ヒアリ…熱帯地域に生息するアリで、刺されると体質によっては死に至る場合もあります。都内では2017年に初めて確認されました。



セアカゴケグモ…オーストラリアを原産地とする毒グモです。1995年に大阪府で初めて確認されて以来、全国に広まり、都内でも確認されています。



身近な生き物の中にも多くの外来種が！

アライグマは、北米原産の外来種です。飼育放棄などで野生化し、他の生き物の巣を荒らしたり農作物へ被害を与えたりしています。クワガタやカブトムシの中にも日本の固有種のほかに、外国からやってきた種類がいます。



生物多様性を守るために自分にできる取組を考えよう



草木や花などの植物を育てよう



最期まで責任をもって飼おう